

令和5年度 飛驒市予算の概要



HIDA CITY
飛驒市

目 次

1. 予算の概要	3
2. 会計別予算総括表	4
3. 予算規模の推移	5
4. 一般会計 歳入予算 内訳	6
5. 一般会計 歳入予算のポイント	7
6. 一般会計 歳出予算 目的別内訳	8
7. 一般会計 目的別歳出予算のポイント	9
8. 一般会計 歳出予算 性質別内訳	10
9. 一般会計 性質別歳出予算のポイント	11
10. 特別会計・企業会計予算のポイント	12
11. 基金の状況	13
12. 市債の状況	14
13. 基金・市債のグラフ	16
14. 主な財政指標の状況	17
15. ふるさと納税を活用し実施する事業	18
16. 特定目的基金を充当し実施する事業	23
17. 社会保障関係費と地方消費税交付金（社会保障財源化分）の推移	26
18. 森林環境譲与税を充てる経費	27

1. 予算の概要

▶ 予算編成方針

令和5年度予算は、飛騨市総合政策指針に掲げるまちの将来像「みんなが楽しく心豊かに暮らせるまち」を実現するため、「持続可能な飛騨市づくり」をテーマとした「まちづくり」「産業づくり」「市役所づくり」の3本柱で編成いたしました。「入るを量りて出ずるを制す」の財政運営方針のもと、徹底した政策協議を踏まえた施策を数多く盛り込むとともに、原油高・物価高騰や新型コロナウイルス対策など今後の先行きが見通せない中であっても市民生活に影響が生じることのないように迅速に対応できる機動力のある予算としました。

▶ 一般会計の特徴

一般会計総額は、対前年度比3.4億円の減となる182.0億円となりました。減額の主な要因は、公債費が計画通り前年比4.3億円減少したほか、神岡小学校外壁改修など大型ハード整備の終了による普通建設事業費が前年比4.9億円の減となったものです。その一方で、電気料をはじめとした物価高の影響で前年比2.3億円歳出が拡大することに加え、今後の物価高に対して機動的に対応するための予備費1.0億円を増額したほか、市民病院への負担金をはじめとした補助費等その他の経費で2.5億円の増額となりました。

財源確保の面では、コロナ禍から通常の生活に戻ることで市民税の増加や、コロナ特例措置の終了による固定資産税の増加などを見据えて、市税は前年比0.4億円増の36.1億円としました。普通交付税は公債費の減少に伴う影響や地方財政計画による一般財源総額が確保されていることを踏まえて前年比2.0億円減の59.0億円とし、特別交付税は前年同額の6.0億円としたことで、地方交付税全体では65.0億円の計上となりました。また、繰入金のうち、財政調整基金からは昨年同額の4.5億円に加えて電気料高騰分1.6億円と物価高対策予備費1.0億円をあわせた7.1億円としました。さらに、ふるさと創生事業基金からは、これまでの寄附額が積みあがってきていることから、寄附者の意向を踏まえた政策の更なる充実を図ることとし、前年比1.5億円増の6.5億円を繰入することとしました。その結果、繰入金全体では、前年比4.5億円増の22.6億円となりました。市債においては、臨時財政対策債を地方財政計画に沿って前年比2.0億円減となる0.6億円の計上に留めた結果、建設事業等の財源もあわせた市債全体では前年比4.0億円減となる8.2億円となりました。

▶ 特別会計・企業会計の特徴

特別会計では、県への納付金が減少する国民健康保険特別会計で0.8億円減少するほか、公共下水道事業特別会計における管渠及び処理施設の耐震化事業やマンホールトイレシステム整備などで0.9億円増額します。このほか、情報施設特別会計では、民間企業へケーブルテレビ事業を譲渡したことから2.7億円減少し、特別会計全体では対前年度比2.3%減の88.0億円となりました。

企業会計は、水道事業において高野配水池送配水管を整備するほか、小規模施設の統合による経営健全化を進める一方で、病院事業では最先端医療機器を整備するほか、病院窓口の自動化に向けた機械導入などDX化を推進することとし、企業会計全体では対前年度比4.5%減の28.0億円となりました。

2. 会計別予算総括表

(単位：千円・%)

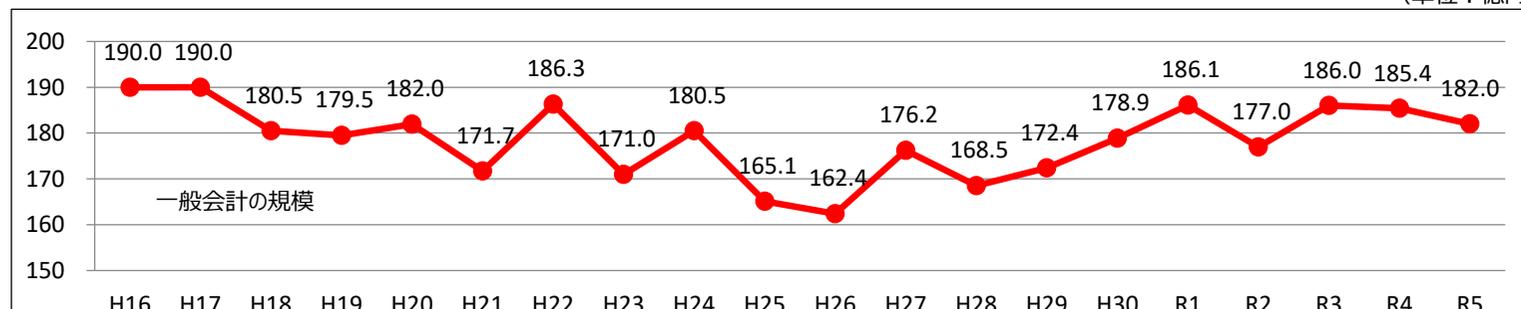
会 計	令和5年度 予算額 (A)	令和4年度 予算額 (B)	増減額 (A-B) C	増減率 C/B * 100
一般会計	18,200,000	18,540,000	△340,000	△1.8
特別会計	8,796,000	9,006,000	△210,000	△2.3
国民健康保険	2,817,000	2,899,400	△82,400	△2.8
後期高齢者医療	462,800	446,000	16,800	3.8
介護保険	3,373,200	3,366,000	7,200	0.2
公共下水道事業	1,361,000	1,268,000	93,000	7.3
特定環境保全公共下水道事業	203,000	183,000	20,000	10.9
農村下水道事業	334,000	337,000	△3,000	△0.9
個別排水処理施設事業	14,500	14,400	100	0.7
下水道污泥処理事業	187,000	177,000	10,000	5.6
駐車場事業	3,700	3,600	100	2.8
情報施設	4,800	277,000	△272,200	△98.3
給食費	35,000	34,600	400	1.2
企業会計	2,796,143	2,926,441	△130,298	△4.5
水道事業	740,678	827,047	△86,369	△10.4
国民健康保険病院事業	2,055,465	2,099,394	△43,929	△2.1
合 計	29,792,143	30,472,441	△680,298	△2.2

3. 予算規模の推移

(単位：億円)

年 度	一般会計			特別会計		企業会計		合 計	
	通常・本格	骨 格	順 位	通 常	順 位	通 常	順 位	通常・本格	順 位
令和5年度	182.0		7	88.0	12	28.0	7	297.9	10
令和4年度	185.4		6	90.1	7	29.3	2	304.7	5
令和3年度	186.0		5	86.9	13	28.6	4	301.5	7
令和2年度	177.0		13	85.6	15	26.1	13	288.7	15
令和元年度	186.1		4	84.5	19	28.3	6	298.9	9
平成30年度	178.9		12	83.6	20	28.7	3	291.2	12
平成29年度	172.4		15	88.3	11	27.7	8	288.4	16
平成28年度	168.5	165.5	18	84.6	18	27.4	9	280.5	17
平成27年度	176.2		14	88.4	10	25.1	15	289.7	14
平成26年度	162.4		20	85.5	16	24.2	18	272.1	20
平成25年度	165.1		19	88.5	9	23.0	20	276.6	19
平成24年度	180.5		9	86.1	14	24.9	17	291.5	11
平成23年度	171.0		17	85.1	17	23.9	19	280.0	18
平成22年度	186.3		3	89.0	8	25.7	14	301.0	8
平成21年度	171.7		16	93.4	6	26.1	12	291.2	13
平成20年度	182.0	170.0	8	95.5	5	27.1	10	304.6	6
平成19年度	179.5		11	120.8	1	26.6	11	326.9	4
平成18年度	180.5		9	116.9	4	30.5	1	327.9	3
平成17年度	190.0		1	120.8	2	28.5	5	339.3	1
平成16年度	190.0	167.5	2	118.3	3	25.0	16	333.3	2

(単位：億円)

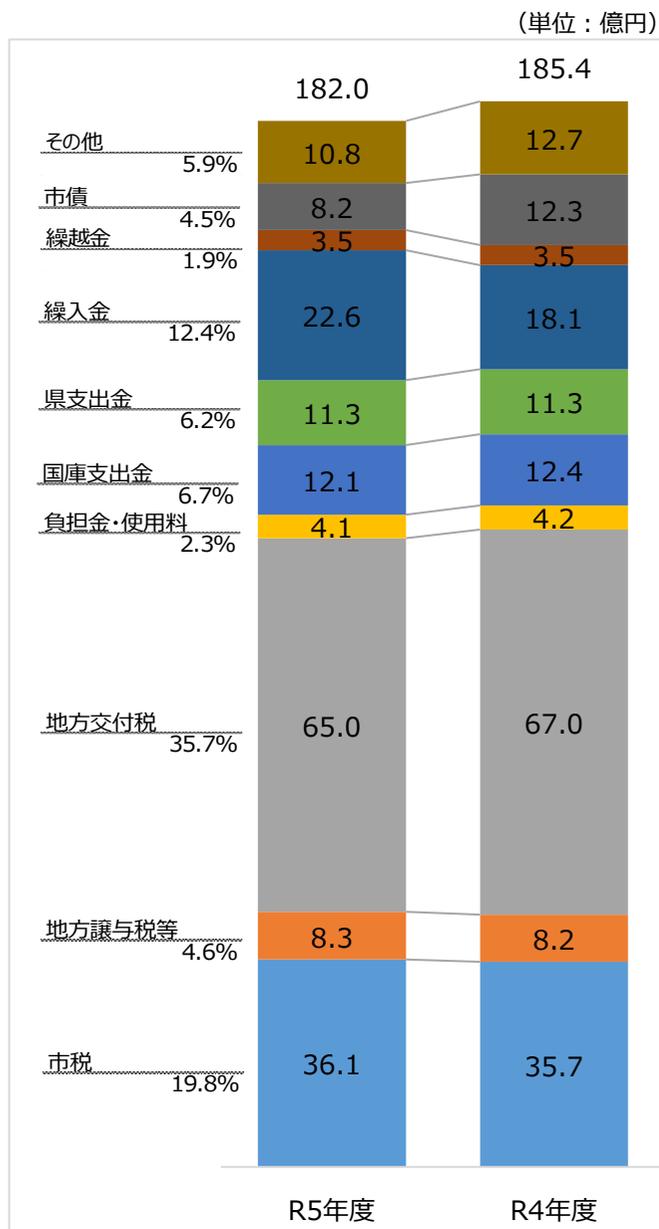


4.一般会計 歳入予算 内訳

(単位：千円・%)

款	令和5年度		令和4年度		増減額 (A-B) C	増減率 C/B * 100
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比		
市税	3,606,894	19.8	3,571,741	19.3	35,153	1.0
地方譲与税	203,200	1.1	201,000	1.1	2,200	1.1
利子割交付金	2,200	0.0	2,400	0.0	△200	△8.3
配当割交付金	10,900	0.1	10,900	0.1	0	0.0
株式等譲渡所得割交付金	7,200	0.0	5,800	0.0	1,400	24.1
法人事業税交付金	16,400	0.1	16,800	0.1	△400	△2.4
地方消費税交付金	556,300	3.1	543,300	2.9	13,000	2.4
ゴルフ場利用税交付金	4,300	0.0	4,300	0.0	0	0.0
環境性能割交付金	19,800	0.1	19,800	0.1	0	0.0
地方特例交付金	11,400	0.1	13,100	0.1	△1,700	△13.0
地方交付税	6,500,000	35.7	6,700,000	36.1	△200,000	△3.0
交通安全対策特別交付金	2,000	0.0	2,000	0.0	0	0.0
分担金及び負担金	165,540	0.9	172,316	0.9	△6,776	△3.9
使用料及び手数料	248,674	1.4	245,952	1.3	2,722	1.1
国庫支出金	1,213,124	6.7	1,236,135	6.7	△23,011	△1.9
県支出金	1,127,621	6.2	1,130,382	6.1	△2,761	△0.2
財産収入	42,337	0.2	41,007	0.2	1,330	3.2
寄附金	500,000	2.8	500,000	2.7	0	0.0
繰入金	2,260,003	12.4	1,813,891	9.8	446,112	24.6
繰越金	350,000	1.9	350,000	1.9	0	0.0
諸収入	528,007	2.9	730,176	4.0	△202,169	△27.7
市債	824,100	4.5	1,229,000	6.6	△404,900	△32.9
合 計	18,200,000	100.0	18,540,000	100.0	△340,000	△1.8

5.一般会計 歳入予算のポイント



➤ 歳入予算の状況

- 市税 36.1億円 (前年度比+0.4億円)**
 固定資産税は、コロナ特例軽減措置の終了等に伴う増収を見込んで前年度比0.1億円増としました。市民税は、人口減があるものの新型コロナの影響により前年度に控えて見込んでいた税額の反動から前年度比0.2億円を見込み、市税全体で前年度比0.4億円増の36.1億円を計上しました。
- 地方交付税 65.0億円 (前年度比△2.0億円)**
 普通交付税は、公債費の減少による影響で2.7億円の減、地方財政計画における税収等の伸びで0.8億円の減と見込みました。一方で、臨時財政対策債の振替で0.5億円の増、国の交付税総額の伸び率から1.0億円の増と見込み、前年度比2.0億円減の59.0億円の計上としました。特別交付税は、当該年度の特種財政事情によって交付されるものであることから、前年同額の6.0億円としました。
- 国庫・県支出金 23.4億円 (前年度比△0.3億円)**
 国庫支出金は、道路整備等に対する補助金3.2億円、障がい福祉サービス費等負担金に3.0億円を計上したほか、新たに新坂上発電所及び新打保発電所にかかる電源立地促進対策交付金0.1億円を見込んだ一方、神岡小学校大規模改修補助金や戸籍情報システムの改修に係る補助金の皆減などから、前年度比0.3億円減の12.1億円となりました。また、県支出金では障がい福祉サービス費等負担金1.5億円を計上したほか、県議会議員選挙委託金0.1億円を見込んだ一方、参議院議員選挙委託金の皆減など、前年度同額の11.3億円を計上しました。
- 繰入金 22.6億円 (前年度比+4.5億円)**
 多額の維持コストが必要な飛騨市クリーンセンター修繕費に清掃施設整備事業基金から1.5億円、観光施設維持修繕や不用施設の解体費用に充てる公共施設管理基金から3.7億円、道路インフラの改良等に充てる社会基盤維持基金から1.4億円を繰り入れます。また、ふるさと納税寄附金の留保額が積みあがってきていることから、まち・ひと・しごと創生事業基金とあわせて7.2億円を活用、特定目的基金全体では前年度比2.0億円増の15.5億円としました。会計全体の財源調整のため財政調整基金から前年度比2.6億円増の7.1億円を繰り入れることとし、基金繰入金総額で前年度比4.5億円増の22.6億円を計上しました。
- 市債 8.2億円 (前年度比△4.0億円)**
 過疎対策事業債のうち、道路整備などのハード事業で4.2億円、住宅リフォーム補助事業などソフト事業に1.5億円を計上しました。その他、辺地対策事業債を0.8億円、消防団積載車・小型ポンプ更新等に充てる緊急防災・減災事業債を0.4億円計上しました。国の予算を見据えた臨時財政対策債が大幅に縮小される見込みから、市債全体では前年度比4.0億円減の8.2億円となりました。

6.一般会計 歳出予算 目的別内訳

(単位：千円・%)

款	令和5年度		令和4年度		増減額 (A-B) C	増減率 C/B * 100
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比		
議会費	110,005	0.6	105,629	0.6	4,376	4.1
総務費	2,713,181	14.9	2,589,793	14.0	123,388	4.8
民生費	4,108,158	22.6	4,355,303	23.5	△247,145	△5.7
衛生費	1,815,884	10.0	1,651,620	8.9	164,264	9.9
労働費	20,444	0.1	20,306	0.1	138	0.7
農林水産業費	1,205,642	6.6	1,206,823	6.5	△1,181	△0.1
商工費	1,095,333	6.0	1,260,960	6.8	△165,627	△13.1
土木費	2,570,766	14.1	2,524,718	13.6	46,048	1.8
消防費	845,413	4.7	717,089	3.9	128,324	17.9
教育費	1,546,150	8.5	1,600,284	8.6	△54,134	△3.4
災害復旧費	1,000	0.0	5,000	0.0	△4,000	△80.0
公債費	2,018,024	11.1	2,452,475	13.2	△434,451	△17.7
予備費	150,000	0.8	50,000	0.3	100,000	200.0
合 計	18,200,000	100.0	18,540,000	100.0	△340,000	△1.8

7.一般会計 目的別歳出予算のポイント

(単位：億円)



➤ 目的別歳出予算の状況

・ 総務費 27.1億円 (前年度比+1.2億円)

庁内のキャッシュレス化などDXの促進に向けた機器の整備に0.3億円、ロストラインパーク管理に係る渓谷コースやトンネルの点検等に0.2億円を計上しました。また、防災備蓄品であるアルファ化米等物資の更新に0.2億円、本庁や振興事務所などの庁舎改修に0.2億円、防災行政無線のデジタル化に向けた改修設計に0.1億円計上し、全体では前年度比1.2億円増の27.1億円となりました。

・ 民生費 41.1億円 (前年度比△2.5億円)

障がい者の生活や就労を支援するための福祉サービス給付費に6.0億円、ランドセルや制服など入園・入学の際に必要な準備品の購入支援金に0.5億円計上しました。一方で、障がい者グループホーム施設改修工事費の皆減や医療扶助費の減があったことなどから、全体では前年度比2.5億円減の41.1億円となりました。

・ 衛生費 18.2億円 (前年度比+1.6億円)

飛騨市グリーンセンターの適正運営を継続するための維持修繕に2.6億円、新型コロナ抗原定性検査キットの購入助成金に0.2億円を計上しました。また、出産・子育てに係る経済的支援に0.1億円、松ヶ瀬最終処分場の維持修繕に0.1億円、省エネ家電の購入補助金に0.1億円を計上し、全体では前年度比1.6億円増の18.2億円となりました。

・ 農林水産業費 12.1億円 (前年度比±0)

新規就農者や担い手の農業設備導入に係る補助に0.3億円、森茂橋や森安～万波線の測量等経費に0.1億円計上したほか、河合町稲越地区・神岡町吉田地区における未整備林の伐採に0.1億円を計上しました。一方で、畜産生産基盤の補助金において0.2億円の減、県営土地改良事業にかかる負担金についても0.2億円の減となったことから、全体では前年度同等の計上となりました。

・ 労働費・商工費 11.1億円 (前年度比△1.7億円)

ひだ流葉スキー場旧センターや山之村キャンプ場トイレ等の解体工事に0.1億円、企業のDX化促進事業や省エネ対策設備導入補助金など新規施策を盛り込んだ一方、市内指定金融機関への預託金や観光施設の維持修繕工事費の減をはじめ、観光誘客ウェブサイト制作の終了などにより全体では前年度比1.7億円減の11.1億円となりました。

・ 土木費 25.7億円 (前年度比+0.5億円)

市民生活に直結する道路や側溝修繕など地域要望に迅速かつ柔軟に対応するための地域基盤振興費は前年同額の1.5億円を計上しました。また、これまでの住宅リフォーム補助金に加え省エネリフォーム助成金0.2億円を計上し脱炭素化普及支援を促進するとともに、長寿命化計画に基づく市営住宅整備工事費0.4億円を計上するなど、全体では前年度比0.5億円増の25.7億円となりました。

・ 消防費 8.4億円 (前年度比+1.3億円)

古川消防署の救助工作車や査察車、積載車の更新事業に1.4億円、角川・数河の旧防火水槽や小無雁の消防器具庫の取り壊し工事に0.1億円、消火栓の維持修繕工事に0.1億円を計上し、全体では前年度比1.3億円増の8.4億円となりました。

・ 教育費 15.5億円 (前年度比△0.5億円)

かわいスキー場の圧雪車購入費に0.5億円、各小学校における教室の床補修やロッカー塗装等の維持修繕に0.5億円、屋内運動場新設に係る工事設計に0.2億円を計上しました。一方で、文化施設の改修工事費の減や神岡小学校外壁改修事業の終了などにより、全体で前年度比0.5億円減の15.5億円となりました。

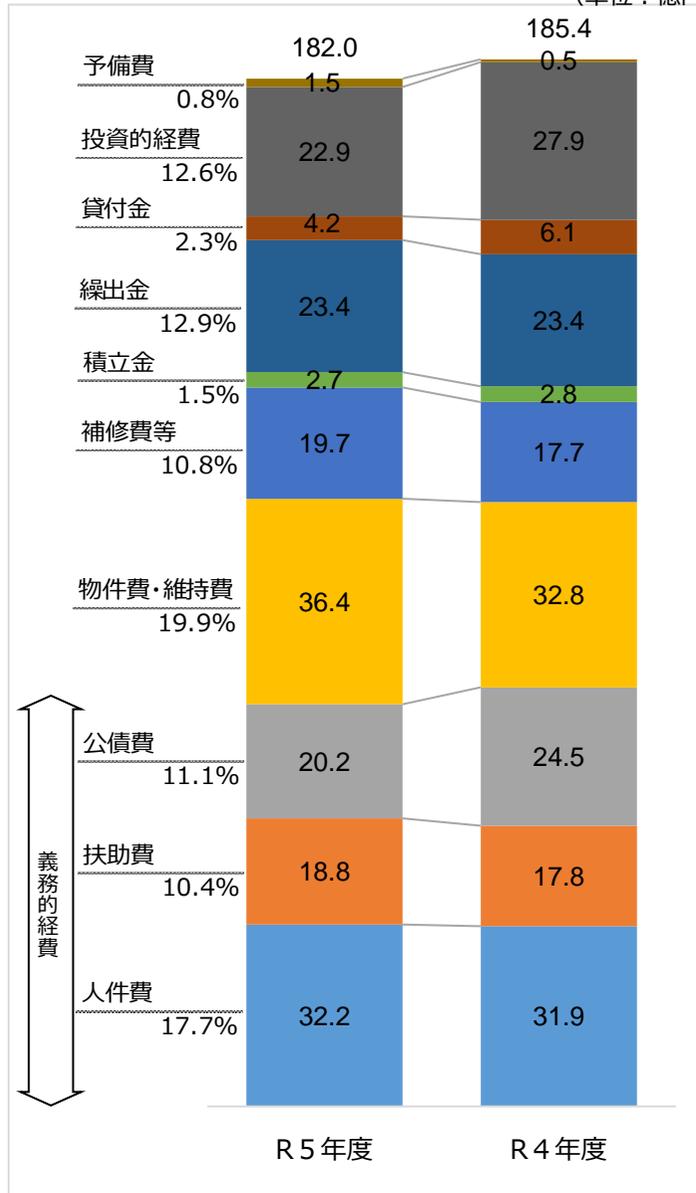
8.一般会計 歳出予算 性質別内訳

(単位：千円・%)

性 質	令和5年度		令和4年度		増減額 (A-B) C	増減率 C/B*100
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比		
義務的経費	7,124,335	39.2	7,416,850	40.0	△292,515	△3.9
人件費	3,223,154	17.7	3,186,007	17.2	37,147	1.2
扶助費	1,883,157	10.4	1,778,368	9.6	104,789	5.9
公債費	2,018,024	11.1	2,452,475	13.2	△434,451	△17.7
一般行政経費	8,634,365	47.4	8,283,269	44.7	351,096	4.2
物件費	3,189,900	17.5	2,896,199	15.6	293,701	10.1
維持補修費	445,538	2.4	382,669	2.1	62,869	16.4
補助費等	1,970,535	10.8	1,771,618	9.6	198,917	11.2
積立金	271,941	1.5	279,238	1.5	△7,297	△2.6
貸付金	415,800	2.3	615,800	3.3	△ 200,000	△32.5
繰出金	2,340,651	12.9	2,337,745	12.6	2,906	0.1
投資的経費	2,291,300	12.6	2,789,881	15.0	△498,581	△17.9
普通建設事業費	2,290,274	12.6	2,784,751	15.0	△494,477	△17.8
災害復旧事業費	1,026	0.0	5,130	0.0	△4,104	△80.0
予備費	150,000	0.8	50,000	0.3	100,000	200.0
合 計	18,200,000	100.0	18,540,000	100.0	△340,000	△1.8

9. 一般会計 性質別歳出予算のポイント

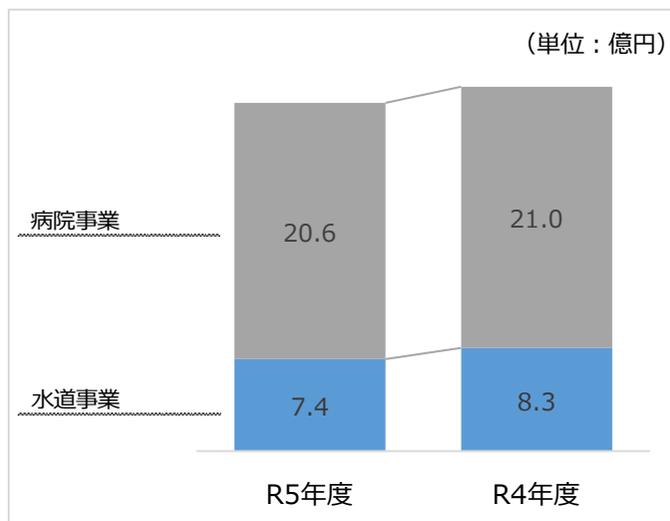
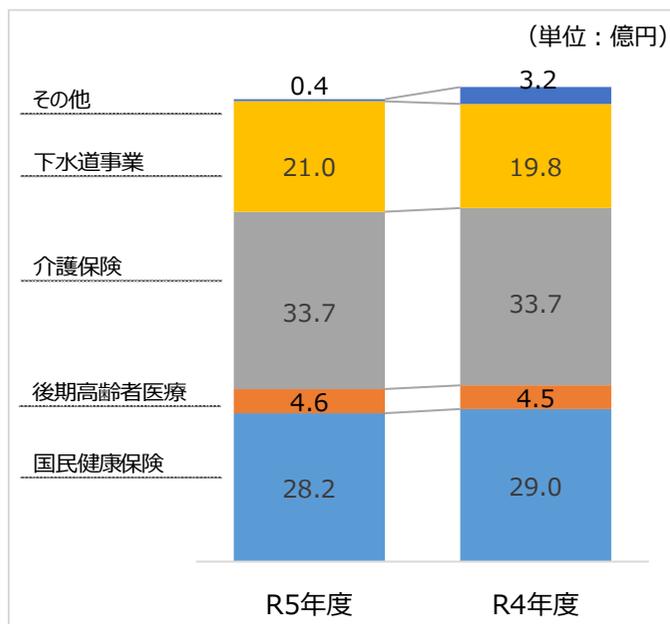
(単位：億円)



▶ 性質別歳出予算の状況

- 人件費 32.2億円 (前年度比+0.4億円)**
 令和4年度人事院勧告により若年層の月例給与や勤勉手当の支給率アップを適用させることから前年比0.6億円増となりますが、退職手当組合負担金として支払う負担金率が下がることなどから全体で0.4億円増の32.2億円となりました。
- 扶助費 18.8億円 (前年度比+1.0億円)**
 和光園入所措置費にかかる加算分が増えたことや福祉サービス給付費・私立保育園負担金の増等から1.3億円増加する一方で、子ども数の減少などにより児童手当が0.2億円減少、また、対象者の減少が見込まれる医療扶助費が0.1億円減少したことで、全体では1.0億円の増となりました。
- 公債費 20.2億円 (前年度比△4.3億円)**
 合併特例債をはじめとする小中学校耐震化事業や庁舎・図書館複合施設整備事業など過去に発行した市債の償還が順次満了するため、前年度比4.3億円の減となりました。一般会計における公債費は、令和2年度をピークに減少に転じており、令和8年まで急激に減少していく見込みとなっています。
- 物件費・維持補修費 36.4億円 (前年度比+3.6億円)**
 ハザードマップや防災ハンドブックの作成、観光サイトや移住サイトのリニューアル、鉱山資料館のリニューアル設計委託業務等の終了から0.8億円の減額要素があるものの、令和4年度から続く電気代高騰、物価高による影響や各種委託料の増加、さらに市有施設の除却工事を0.3億円計上したことなどで、全体では3.6億円増の36.4億円となりました。
- 補助費等 19.7億円 (前年度比+2.0億円)**
 新たな補助制度として住宅省エネリフォーム助成金を0.2億円、国・県と合わせて行う出産・子育て応援給付金0.1億円を計上しました。また、コロナ感染対策として継続する抗原定性検査キット購入助成金を0.2億円計上し、小中高生を対象としたリフト無料化等補助金0.1億円を計上しました。さらに地域医療を支える人づくり事業分として病院事業会計負担金0.3億円を増やすなど、その他既存補助事業を増したことにより全体では2.0億円増の19.7億円となりました。
- 投資的経費 22.9億円 (前年度比△5.0億円)**
 普通建設事業費では、飛騨市クリーンセンター等維持修繕工事に2.6億円、古川消防署救助工作車更新に1.2億円、かわいスキー場圧雪車更新0.5億円など計上しましたが、令和4年度に実施した障がい者グループホーム整備や美術館空調等大規模改修、ハートピア古川の空調設備改修など大型建設事業が終了したことから、全体では4.9億円の減となりました。また、災害復旧事業費は、令和3年7月豪雨災害による市道跡津川線の災害復旧工事が完了したことで減額となりました。

10.特別会計・企業会計予算のポイント



▶ 特別会計予算の状況

- 国民健康保険 28.2億円（前年度比△0.8億円）**
 事業勘定では、保険事業費に係る県への納付金が0.4億円減少する一方で、今後の運営を見据えた保険料引き上げを計画通り行うこととし、前年度から0.8億円の減となる26.2億円を計上しました。また、直営診療施設勘定では、後期高齢受診者の増に伴う診療報酬の増等を見込み、2.0億円を計上しました。
- 介護保険 33.7億円（前年度比+0.1億円）**
 第8期介護保険事業計画の最終年度にあたる保険勘定では、国の制度改革で特定入所者介護サービスの認定要件が厳格化されたことに伴う保険給付費0.2億円減を見込んだほか、認知症施策について、古川・神岡の拠点を中心としたサポーター養成などの拡充や元気で意欲のある高齢者の社会参加促進のための生きがいづくりフェア開催費用など、全体では前年度比0.1億円増となる33.5億円を計上しました。また、事業勘定では市民や地域と一体となった積極的な介護予防の取り組んでいるため、ケアマネージャー不足対策としてケアプラン作成の民間委託費用など0.2億円を計上しました。
- 下水道事業 21.0億円（前年度比+1.2億円）**
 下水道事業5会計においては令和4年度から続く電気代高騰により光熱水費を合計0.3億円増額しました。公共下水道事業では、引き続き神岡町船津処理区の管渠整備を進めるとともに、古川浄化センター及び重要幹線の耐震化を進めます。特定環境保全公共下水道事業では袖川地区のマンホールトイレ整備に取り組みます。
- 情報施設 480万円（前年度比△2.7億円）**
 ケーブルテレビ事業は令和4年度に民間企業への事業譲渡が完了したため、令和5年度は清算にかかる経費のみとなり、大幅な減額となりました。なお、自主放送にかかる経費については一般会計に移行させています。

▶ 企業会計予算の状況

- 水道事業 7.4億円（前年度比△0.9億円）**
 健全な経営を目指して、小規模で取導水施設が脆弱な桂上地区を含めた3地区を稲越地区への統合に向けた検討を行います。また、高野配水池整備による送配水管の更新工事や、県道古川清見線の整備や橋梁架替工事に合わせた水道管の布設替え工事を実施します。
- 国民健康保険病院事業 20.6億円（前年度比△0.4億円）**
 市民病院については、医師室環境整備や最先端医療機器導入等、ふるさと納税を活用した備品購入整備に0.7億円計上したほか、研修医とともに専攻医を積極的に受け入れるための魅力あふれるパンフレット作成、新医師住宅の借上による医師環境整備、里山ナース認定制度による研修の継続実施費用を計上しました。また、自動精算機を導入することで病院DX化にも着手し、利用者の利便性の向上、更なる経営改善を図りながら安定した病院経営を目指します。また、たかはらについては、引き続き指定管理者に運営を委ねるとともに、適温配膳車の購入など施設修繕を施しながら、介護医療院として高原地域における介護サービスの更なる充実を図ります。

11.基金の状況

(単位：千円)

基金区分	令和3年度 末現在高	令和4年度 末現在高見込	令和5年度		
			取崩額	積立額	末現在高見込
積立基金	15,573,381	15,454,592	2,384,570	274,603	13,344,625
財政調整基金	6,227,602	6,236,815	710,000	11,064	5,537,879
減債基金	143,171	67,586	-	255	67,841
ふるさと創生事業基金	1,759,660	2,033,981	650,000	242,627	1,626,608
（うち ふるさと納税分）	1,551,732	1,822,929	650,000	239,500	1,412,429
市民の暮らし応援基金	5,272	5,282	5,200	10	92
防災基金	88,911	71,641	20,900	158	50,899
福祉事業基金	782,426	685,015	-	1,391	686,406
公共施設管理基金	1,160,001	1,108,752	370,000	2,061	740,813
新規就農者育成基金	60,193	58,608	4,800	107	53,915
駐車場事業基金	29,628	30,090	-	345	30,435
有線テレビ放送施設基金	331,679	86,283	3,200	590	83,673
小水力発電事業基金	7,074	3,657	-	3,513	7,170
鉄道資産整理基金	1,523,865	1,527,162	19,574	6,338	1,513,926
合併基金	1,211,763	1,213,914	2,500	2,153	1,213,567
文化・交流振興基金	292,622	222,142	-	520	222,662
清掃施設整備事業基金	318,923	419,490	150,000	567	270,057
学校施設整備基金	146,655	197,490	88,029	261	109,722
国民健康保険財政調整基金	316,413	276,753	49,000	563	228,316
介護給付費準備基金	243,069	199,653	31,753	432	168,332
下水道関係減債基金	142,605	130,789	12,073	255	118,971
公共下水道事業基金	268,382	239,119	28,541	477	211,055
交通遺族弔意基金	5,460	5,470	-	10	5,480
木育事業基金	1,310	1,313	-	3	1,316
社会基盤維持基金	249,996	170,040	140,000	445	30,485
消防施設整備基金	19,918	25,954	7,000	36	18,990
森林整備促進基金	47,053	35,137	20,000	84	15,221
私立大学設置応援基金	27,308	168,757	-	49	168,806
まち・ひと・しごと創生事業基金	162,424	233,701	72,000	289	161,990
運用基金	539,803	543,111	-	4,303	547,414
育英基金	447,260	447,527	-	81	447,608
その他の運用基金	92,543	95,584	-	4,222	99,806
合計	16,113,184	15,997,703	2,384,570	278,906	13,892,039

▶ 基金の状況

◇取り崩し

- ・財政調整基金 7.1億円
年度間の財源調整のため
- ・ふるさと創生事業基金 6.5億円（詳細はP18）
地域振興や困難を抱える人々への支援など
- ・公共施設管理基金
公共施設の適正維持保全 3.7億円
- ・清掃施設整備事業基金
クリーンセンター点検整備等 1.5億円
- ・学校施設整備基金
市内小中学校空調整備等 0.9億円
- ・まち・ひと・しごと創生事業基金
ソーシャルビジネス支援交付金 0.7億円
- ・社会基盤維持基金
県道改良事業負担金等 1.4億円

◇積み立て

好調なふるさと納税については、前年実績で19.2億円ものご支援をいただいておりますが、社会情勢の変化等による制度変更も見据え、新年度予算における寄附金額は手堅く5.0億円と見込んでいます。当該寄附金額から返礼品等の必要経費を除いた約2.4億円をふるさと創生事業基金へ積み立てることとしています。

12.市債の状況

(単位：千円)

会 計	令和3年度 末現在高	令和4年度 末現在高見込	令和5年度			
			発行額	(うち前年度繰越額)	元金償還	末現在高見込
一般会計	13,287,121	12,034,659	1,091,000	266,900	1,993,934	11,131,725
辺地・過疎対策事業債	3,508,424	3,838,173	880,800	233,300	482,318	4,236,655
合併特例事業債	3,646,635	2,793,649	-	-	673,236	2,120,413
災害復旧事業債	261,259	226,901	1,100	1,100	43,409	184,592
その他の事業債	973,496	857,357	148,100	32,500	142,456	863,001
臨時財政対策債	4,897,307	4,318,579	61,000	-	652,515	3,727,064
特別会計	7,102,124	6,514,500	280,400	-	740,659	6,054,241
国民健康保険直営診療施設事業	26,800	28,274	2,500	-	3,750	27,024
公共下水道事業	5,100,310	4,747,455	270,200	-	485,245	4,532,410
特定環境保全公共下水道事業	745,321	658,738	4,200	-	90,154	572,784
農村下水道事業	860,052	744,915	3,200	-	125,887	622,228
個別排水処理施設事業	37,847	35,613	300	-	2,835	33,078
下水道汚泥処理事業	331,794	299,505	-	-	32,788	266,717
企業会計	1,063,582	1,153,727	100,000	-	162,245	1,091,482
水道事業	575,352	494,021	-	-	78,774	415,247
病院事業	488,230	659,706	100,000	-	83,471	676,235
合 計	21,452,827	19,702,886	1,471,400	266,900	2,896,838	18,277,448

※令和5年度の市債発行額には、前年度からの繰越分を含めているため、予算計上額とは異なります。

市債の状況

市債残高は平成24年度のピーク以降、市債の償還額が新規発行額を上回る「プライマリーバランスの黒字運営」を維持することで年々減少しています。令和5年度は、古川消防署救助工作車更新事業などの大型投資はありますが、全会計における年度末市債残高は、前年度末より14.3億円減少する見込みです。

(会計別の年度末残高増減額(R04→R05))

一般会計 △9.0億円

特別会計 △4.6億円

企業会計 △0.6億円

市債の新規発行にあたっては、後年度の元利償還金に対する地方交付税措置のある有利な起債に限定する方針を堅持し、実質的な公債費負担の抑制を図っています。

(各事業債の交付税算入率)

過疎対策事業債 70%

辺地対策事業債 80%

合併特例事業債 70%

公共施設等適正管理推進事業債 50%

緊急自然災害防止対策事業債 70%

緊急防災・減災事業債 70%

補助災害復旧事業債 95%

臨時財政対策債 100%

市債残高と公債費負担

市債残高

合併後の特別の行政需要に応えるため、飛騨市では総額159.4億円の「合併特例債」の発行が認められており、これまで市の基盤となる大型の施設整備や基金造成に活用し、令和4年度末をもって発行上限に達しました。特に、合併直後からの9年間に於いて、文化交流センターや図書館複合施設、古川小学校、クリーンセンターの新築等、大型投資事業の財源に充てるための借入れが続いた結果、市債残高が累増し、ピーク時の平成24年度末の現在高は240.3億円に達しましたが、その後、これらの償還が本格化し、公債費が新規発行額を上回る「プライマリーバランスの黒字」が続いていることから市債残高は減少に転じており、さらに平成30年度繰越の小中学校空調整備事業で活用した交付税措置のない学校教育施設等整備事業を令和4年度末に繰上償還することでさらに減少する見込みです。【図1】

公債費

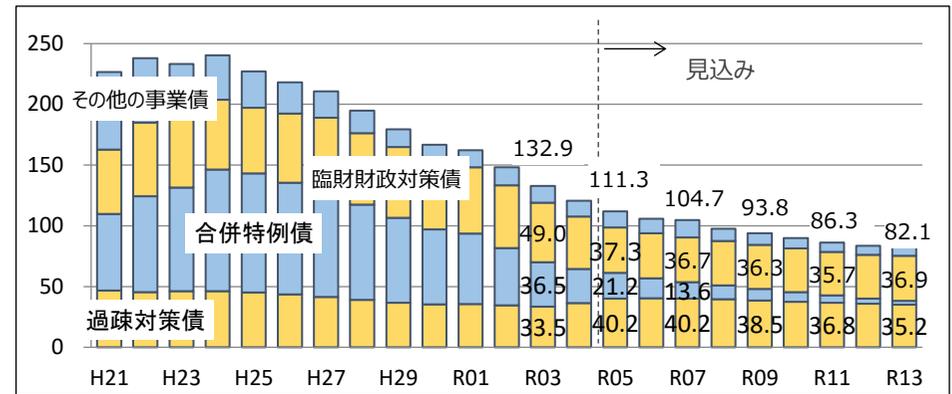
市の財政規模に対する実質的な市債償還負担の度合いを示す実質公債費比率は、令和3年度の単年度決算では前年度より好転し、過去3ヶ年の平均を用いる指標では、0.1ポイントの改善となる13.7%となりました。県内市で最も高い比率ですが、上記の合併特例債を活用するにあたり、こうした傾向になることはあらかじめ想定の上で、更に既発債の償還時に制度上認められている据置期間を活用せず、借入れの翌年度から元金の償還を開始するなど、市債残高の早期削減に努めてきたことから、指標の分母となる普通交付税や臨時財政対策債の大幅な減少がない限り、実質公債費比率は今後減少していく見込みです。【図2】

今後の方針

合併特例による加算措置の終了した令和元年度以降、平準化された地方交付税に均衡した規模内での財政運営が求められる中、過去に発行した市債は今後順次償還が満了していきます。普通会計における公債費は、地方交付税措置を除いた真水の一般財源ベースで比較しますと、令和2年度の6.9億円から令和8年度の2.9億円では約4.0億円の余裕が生じるものと見込んでおり、今後はこの余力を社会保障関係費などの財源として活用していく方針としています。尚、新たな市債を発行する場合には、交付税措置のある有利な起債メニューに限定し、極力負担の少ない安定した財政運営を実現します。【図3】

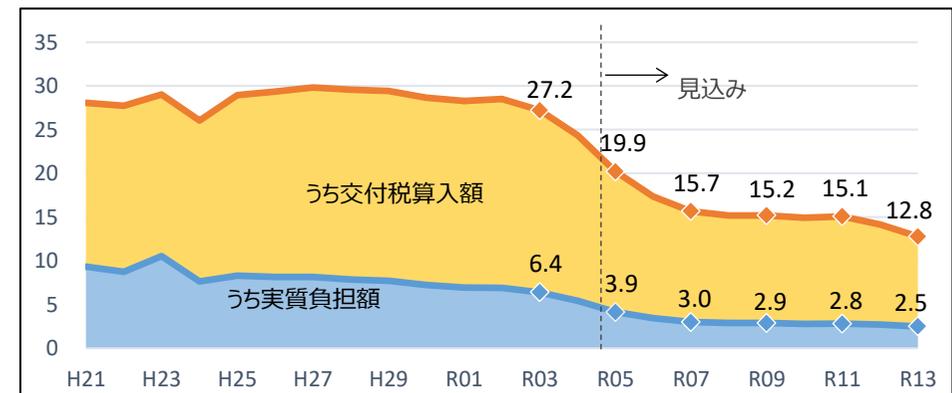
【図1】市債残高の推移（普通会計）

(単位:億円)



【図2】市債償還額の推移（普通会計）

(単位:億円)



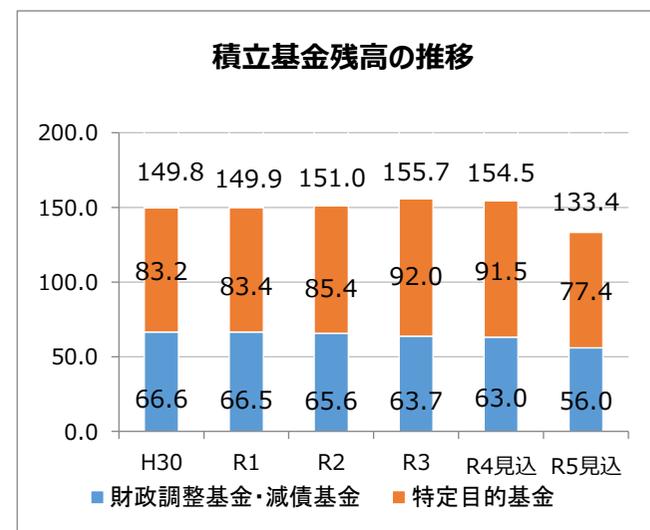
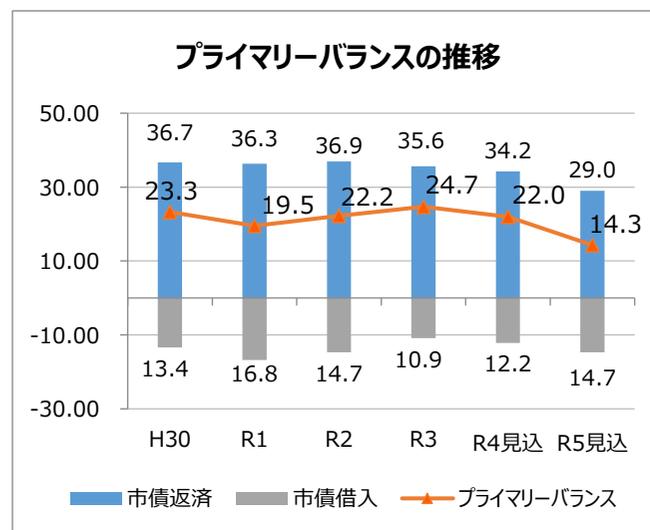
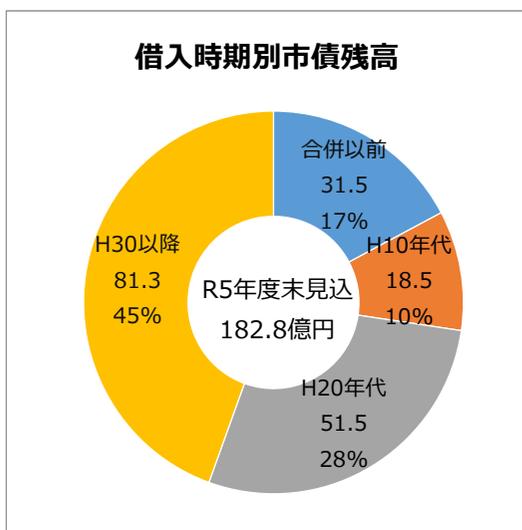
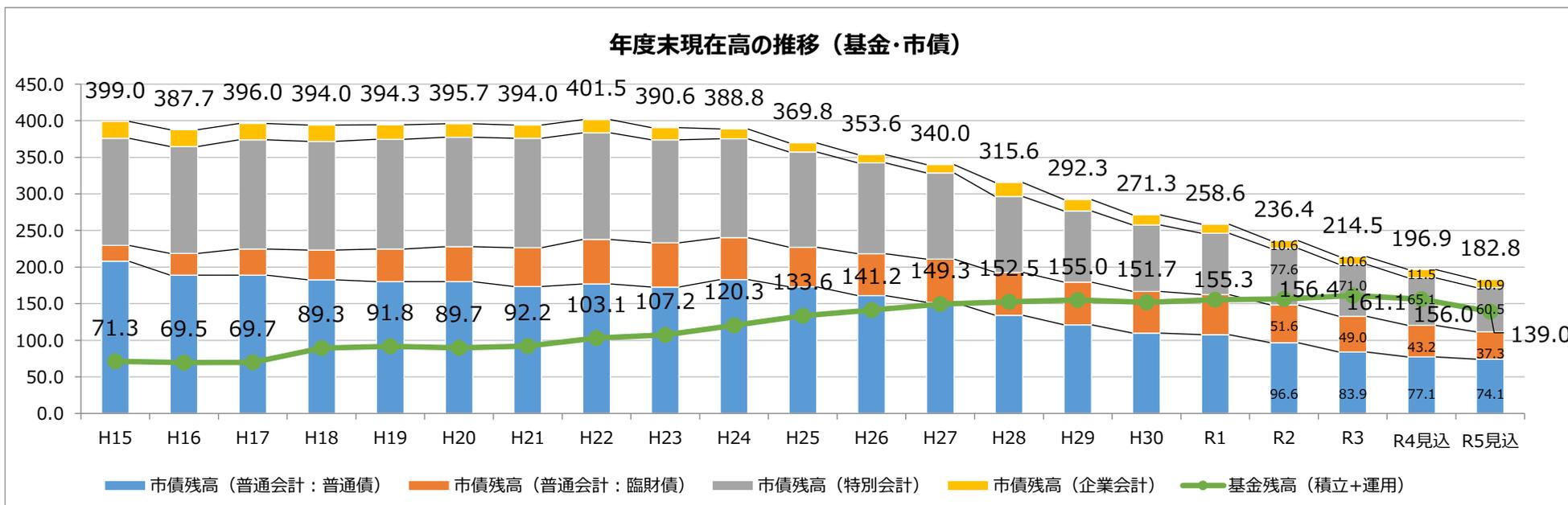
【図3】市債償還に係る実負担額の軽減見込み（普通会計）

(単位:千円)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実償還額	2,850,805	2,721,142	2,434,853	1,993,934	1,736,984	1,567,018	1,519,929
交付税算入額	2,160,151	2,080,027	1,892,362	1,608,903	1,390,715	1,267,635	1,229,964
実質負担額	690,654	641,115	542,491	385,031	346,269	299,383	289,965
前年比較	-	△ 49,539	△ 98,624	△ 157,460	△ 38,762	△ 46,886	△ 9,418
累計	-	△ 49,539	△ 148,163	△ 305,623	△ 344,385	△ 391,271	△ 400,689

13.基金・市債のグラフ

(単位：億円)



※R4当初予算発表時のR4見込は、134.3億円でした。

14.主な財政指標の状況

- **自主財源比率 42.8% (R3年度決算)**
自主財源（市税や使用料等）が歳入総額に占める割合
- **義務的経費比率 34.9% (R3年度決算)**
任意での削減が困難とされる義務的経費（人件費、扶助費、公債費）が予算総額に占める割合
- **財政力指数 0.33 (R4年度 [R2~R4年度平均値])**
普通交付税の算定に用いられる基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値
- **経常収支比率 90.5% (R3年度決算)**
経常的に収入される一般財源が、経常的な経費に充当された割合
- **実質公債費比率13.7% (R3年度決算 [R1~R3年度平均値])**
公債費やこれに準ずる他会計等への繰出金等の標準財政規模に対する割合
- **将来負担比率 - (R3年度決算)**
市債残高や債務負担行為などの将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合

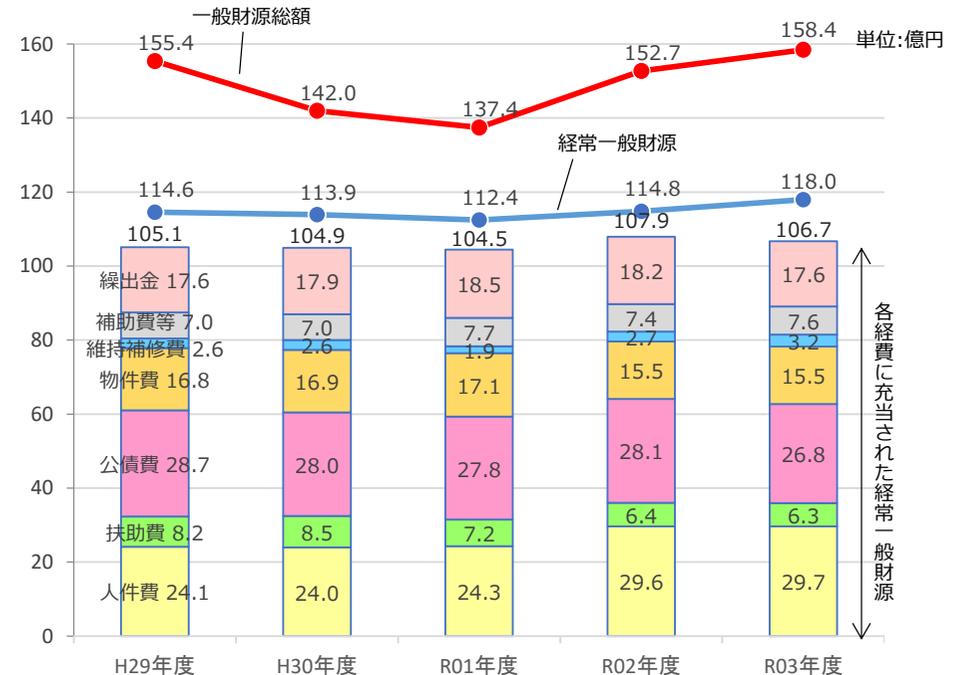
経常収支比率

飛騨市の経常収支比率は、合併以来概ね80%台の後半を推移してきましたが、平成29年度には共済掛金率の改正に伴う人件費の増加や、保育士の処遇改善を含む公定価格の改定による児童措置費の増加等により義務的経費が1.1億円増加したことに加え、歳入面では合併特例の段階的な縮小の過程で普通交付税が2.5億円減少したことが重なり、初めて90%を超えることとなりました。地方交付税の平準化が進む局面にあって、この傾向は今後も続くものと見込まれますが、経常一般財源については安定的に推移しており令和5年度の予算編成においても前年度と同程度の水準が見込めるほか、この指標には含まれない国県支出金やふるさと納税を始めとする特定財源の拡大を図っているため、経常収支比率の悪化をもって、直ちに予算編成の自由度が失われているという状況にはありません。

一般財源と経常経費の関係（経常収支比率） (単位：千円)

	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
一般財源総額	15,537,710	14,195,830	13,743,616	15,271,261	15,843,489
経常一般財源	11,458,671	11,390,707	11,244,701	11,483,107	11,796,296
経常経費充当一般財源	10,507,763	10,490,824	10,445,718	10,790,019	10,671,802
義務的経費	6,102,069	6,047,994	5,933,765	6,409,835	6,275,764
人件費	2,413,414	2,395,535	2,433,719	2,963,843	2,966,991
扶助費	816,589	848,756	717,863	638,452	630,896
公債費	2,872,066	2,803,703	2,782,183	2,807,540	2,677,877
一般行政経費	4,405,694	4,442,830	4,511,953	4,380,184	4,396,038
物件費	1,679,133	1,688,910	1,710,354	1,548,282	1,550,727
維持補修費	264,199	264,319	189,875	266,820	322,115
補助費等	699,881	696,019	765,166	744,399	760,436
繰出金	1,762,481	1,793,582	1,846,558	1,820,683	1,762,760
経常収支比率	91.7%	92.1%	92.9%	94.0%	90.5%

※経常一般財源には臨時財政対策債等を含む



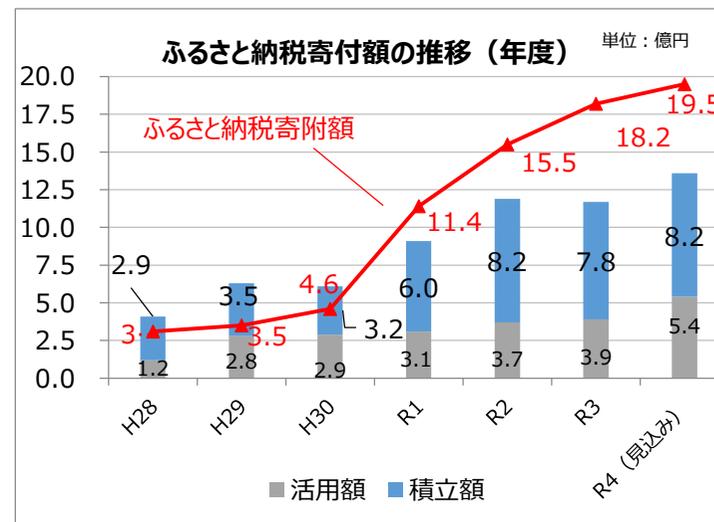
15.ふるさと納税を活用し実施する事業

昨年1月から12月の一年間に全国の皆さまからいただいた「がんばれふるさと応援寄附金」（ふるさと納税）は、前年比7.5%増となる19億2千万円となりました。令和5年度当初予算では、活用可能額21億4千万円のうち、7億2千万円を活用することで「みんなが楽しく心豊かに暮らせるまち」の実現に向けて有意義に活用させていただきます。

社会情勢の変化による寄附額の減少などを考慮しますと、こうしたご支援に過度に依存した財政運営は適切ではないと考え、寄附メニュー別の活用については経常的な事業の財源には活用せず、単年度事業を中心とした財源充当とし、残余については今後の事業財源として留保させていただくこととしました。また、ご寄付いただいた方の意向に沿って活用することが大切であるため、留保額が大きくなりすぎないように、昨年より1億5千万円増やして活用させていただきます。

(千円)

○目的別一覧	寄附総額	活用可能額	R5活用額	留保額
① 地域振興・観光・まちづくり・防災に関する事業	626,336	957,648	245,196	712,452
② 福祉・子育て支援・生きづらさや困難を抱える人々への支援に関する事業	283,644	199,551	140,306	59,245
③ 教育・文化・芸術・環境保全に関する事業	233,998	125,883	112,452	13,431
④ 飛騨市こどものこころクリニックの運営に関する事業	109,214	85,039	37,419	47,620
⑤ 東京大学宇宙線研究所との連携推進事業	55,008	92,722	9,185	83,537
⑥ レールマウンテンバイクガッタン・ゴーによる地域振興事業	18,763	28,328	1,500	26,828
⑦ 飛騨市を舞台とした若手音楽家・芸術家の育成プロジェクト	16,604	16,914	5,600	11,314
⑧ 飛騨市オリジナル映画ドラマ制作プロジェクト	13,150	6,890	6,856	34
⑨ 飛騨市の子どもたちを大きく育む！ドリームプロジェクト	89,954	48,007	47,925	82
⑩ 飛騨みやがわ考古民俗館の茅葺き民家を保存・活用する事業	18,754	23,145	257	22,888
⑪ 飛騨市民病院による地域医療を支える人づくりに関する事業	59,951	72,484	28,695	43,789
⑫ 飛騨市で開催する関西中学生ラグビーフットボール大会への支援に関する事業	5,903	8,408	3,059	5,349
⑬ 東北大学宇宙素粒子研究連携事業	50,911	47,450	0	47,450
⑭ 飛騨市での私立大学立地への支援	20,941	183,214	0	183,214
⑮ 青春小説「弱虫日記」足立紳監督・映画化応援プロジェクト	5,190	0	0	0
⑯ 日本一の猫助け事業を飛騨市から！	175,636	129,262	50,000	79,262
⑰ 子どもたちにワクワクする学びを！	104,353	91,833	22,000	69,833
⑱ 飛騨市の子どもたちをスポーツで元気に！	32,846	22,043	11,550	10,493
⑲ 鉾山資料館のリニューアルに向けて	3,080	1,540	0	1,540
合計	1,924,236	2,140,361	722,000	1,418,361



■ 寄附総額 (A)

R4年1月～12月の寄附総額

■ 活用可能額 (B)

寄附総額から経費を差し引いた額に

これまでに留保しておいた額を足した額。

この金額の範囲内で活用することができる。

■ R5活用額 (C)

R5事業費に財源として充当する額

■ 留保額 (B-C)

今後を活用するため留保しておく額

①地域振興・観光・まちづくり・防災に関する事業

事業内容	活用額	事業費
魅力ある地域産品発掘プロモーション事業	9,473 千円	9,473 千円
地域おこし協力隊定住・起業化事業	2,369 千円	2,738 千円
台湾新港郷との友好交流推進事業	6,000 千円	6,000 千円
飛騨市ファンクラブ交流推進事業	9,903 千円	9,903 千円
飛騨市ファンクラブの交流を通じた地域振興事業	9,390 千円	9,390 千円
関係人口と共創するまちづくりプロジェクト事業	3,755 千円	3,755 千円
地域と大学との交流・連携支援事業	1,350 千円	1,350 千円
止利仏師伝説伝承事業	4,537 千円	4,537 千円
白木峰登山道整備事業	2,250 千円	2,250 千円
「棚田と板倉の里」活性化事業	4,641 千円	4,641 千円
飛騨まんが王国声優塾 P R 事業	2,279 千円	2,279 千円
地域イベント補助事業	769 千円	769 千円
神岡ミズベリング推進事業	900 千円	900 千円
北ノ俣・深洞湿原整備事業	3,800 千円	3,800 千円
旧深山邸利活用事業	806 千円	806 千円
地域イベント体験学習補助事業	12,367 千円	12,367 千円
地域防災力強化促進事業	781 千円	781 千円
防災活動支援補助事業	3,810 千円	3,810 千円
ゆらわ〜くはうす魅力向上事業	1,400 千円	2,500 千円
スマート農業推進事業	2,446 千円	2,446 千円
鮎の知名度向上・活用事業	405 千円	405 千円
豊かな食とオーガニックプロジェクト事業	650 千円	650 千円
飛騨市産食材まるごとフェア事業	5,884 千円	5,884 千円
食の総合プロデュース・ブランド化推進事業	3,873 千円	4,080 千円
売れる堆肥生産推進事業	5,300 千円	6,492 千円
鳥獣対策ワンストップ窓口設置事業	5,000 千円	5,000 千円
高野千本桜夢公園整備事業	2,300 千円	4,146 千円
販路拡大クラフトバレー事業	1,200 千円	1,200 千円
特産品市場開拓推進事業	2,100 千円	2,100 千円
ネットショップ運営人材育成支援事業	2,442 千円	2,442 千円

事業内容	活用額	事業費
モノづくり事業者育成プロジェクト事業	3,850 千円	3,850 千円
まちづくり活動拠点運営事業	6,755 千円	6,755 千円
まちの元気応援事業	3,591 千円	3,591 千円
ドローンプロジェクト推進事業	2,784 千円	4,984 千円
薬草ビレッジ構想推進プロジェクト事業	5,300 千円	5,300 千円
ひだ森のめぐみ運営事業	5,220 千円	5,220 千円
飛騨漬けキャンペーン拡大促進事業	2,980 千円	2,980 千円
体験型観光促進事業	1,353 千円	1,353 千円
観光イベント・地域イベント開催事業	17,030 千円	17,030 千円
コンベンション推進事業	13,000 千円	13,000 千円
まつり広場エリア機能向上検討事業	900 千円	900 千円
町並み景観保全事業	1,000 千円	1,000 千円
飛騨古川まつり会館集客拡大事業	3,600 千円	3,600 千円
観光プロモーション事業	10,900 千円	12,000 千円
観光人材育成事業	500 千円	500 千円
除雪機械更新事業	14,428 千円	41,529 千円
住宅耐震化等促進事業	2,421 千円	5,510 千円
公園施設改修事業	12,900 千円	12,900 千円
公園長寿命化計画事業	2,000 千円	12,000 千円
インクルーシブ遊具整備事業	2,000 千円	3,500 千円
千代の松原公園再整備事業	3,000 千円	3,000 千円
都市公園の魅力発信事業	216 千円	216 千円
飛騨市民カレッジ拡充事業	10,000 千円	10,820 千円
街なかポケットミュージアム整備事業	2,310 千円	2,310 千円
スポーツ施設整備事業	4,978 千円	97,750 千円

②福祉・子育て支援・生きづらさや困難を抱える人たちへの支援に関する事業

事業内容	活用額	事業費
公衆トイレのユニバーサル化整備事業	5,000 千円	5,000 千円
やさしいまちづくり応援事業	1,500 千円	1,500 千円
結婚支援事業	4,400 千円	4,884 千円
地域生活安心支援センター事業	5,340 千円	5,340 千円
未来投資プロジェクト事業	1,073 千円	1,073 千円
自立支援給付利用者負担助成事業	1,800 千円	1,800 千円
生活困窮者就労支援事業	4,800 千円	11,350 千円
医療・介護・福祉機関への包括支援補助事業	8,000 千円	8,000 千円
要支援者への避難行動支援事業	264 千円	264 千円
医療・介護・福祉機関人材確保対策事業	15,000 千円	15,000 千円
いきいき地域生活応援事業	24,000 千円	24,000 千円
高齢者等屋根融雪等整備事業	5,000 千円	5,000 千円
雪下ろしサポートセンター事業	2,850 千円	2,850 千円
あんきな冬季滞在サービス実証事業	650 千円	650 千円
買い物弱者支援事業	5,000 千円	5,000 千円
終活支援事業	4,200 千円	4,200 千円
高齢者いきいき住宅改善補助事業	1,000 千円	1,000 千円
割石温泉活性化事業	700 千円	700 千円
介護認定審査会オンライン化の推進	1,806 千円	1,806 千円
在宅療養体制強化事業	2,000 千円	2,000 千円
二次医療圏医療体制整備補助事業	7,585 千円	8,170 千円
J A厚生連看護専門学校補助事業	382 千円	382 千円
入園・入学祝い金交付事業	23,600 千円	45,700 千円
子ども・みんなの居場所づくり支援事業	674 千円	800 千円
保育業務効率化システム導入事業	2,759 千円	4,250 千円
保育園備品充実事業	2,000 千円	2,000 千円
子育て支援員等養成事業	1,500 千円	2,800 千円
ひとり親家庭等日常生活支援事業	100 千円	400 千円
ひとり親家庭等への宅配弁当クーポン配布事業	1,000 千円	1,000 千円
妊婦通院費助成事業	800 千円	800 千円

事業内容	活用額	事業費
民間賃貸住宅家賃補助事業（ひとり親支援）	2,172 千円	2,172 千円
生きにくさ・学びにくさのある児童生徒支援事業	3,168 千円	3,367 千円
図書館利用のための一時託児サービス拡充	183 千円	183 千円

③教育・文化・芸術・環境保全に関する事業

事業内容	活用額	事業費
再生可能エネルギー活用推進事業	3,000 千円	3,000 千円
魅力ある地元高校づくり事業	4,100 千円	4,100 千円
天生の森と人のプロジェクト事業	6,260 千円	8,526 千円
河合地歌舞伎の伝承支援事業	600 千円	600 千円
池ヶ原湿原誘客推進事業	10,030 千円	15,330 千円
省エネ家電製品の買い替え支援事業	5,000 千円	5,000 千円
生物多様性保全対策事業	1,534 千円	1,534 千円
ごみ分別・減量化推進事業	2,442 千円	2,442 千円
ごみリサイクル体制強化事業	8,351 千円	8,351 千円
自然環境保全活動推進事業	4,000 千円	4,000 千円
住宅省エネリフォーム助成事業	20,000 千円	20,000 千円
育英基金貸付生地元就職補助事業	1,721 千円	1,721 千円
飛騨市学園構想推進事業	4,452 千円	4,534 千円
外国人語学講師招致事業	10,220 千円	10,220 千円
山城整備活用（姉小路氏関連）事業	4,283 千円	8,302 千円
古川祭史研究事業	820 千円	3,885 千円
図書貸し出しシステム機能向上事業	12,800 千円	16,684 千円
史跡江馬氏城館跡保存活用推進事業	6,339 千円	9,833 千円
みやがわ考古民族館活用事業	1,182 千円	1,203 千円
インクルーシブ・スポーツ学童拡充事業	1,840 千円	2,800 千円
ルディックウォーキング普及推進事業	473 千円	494 千円
クアオルト健康ウォーキング推進事業	3,005 千円	3,005 千円

④飛騨市こどものこころクリニックの運営に関する事業

事業内容	活用額	事業費
こどものこころ支援室心理士専門研修等経費	30,364 千円	30,364 千円
こどものこころクリニック基盤安定事業	7,055 千円	7,055 千円

⑤東京大学宇宙線研究所との連携推進事業

事業内容	活用額	事業費
先端科学都市構想推進事業	9,185 千円	11,285 千円

⑥レールマウンテンバイクガッタン・ゴーによる地域振興事業

事業内容	活用額	事業費
ロストラインパーク構想推進事業	1,500 千円	21,424 千円

⑦飛騨市を舞台とした若手音楽家・芸術家の育成プロジェクト

事業内容	活用額	事業費
「飛騨河合音楽の郷」推進事業	5,600 千円	5,600 千円

⑧飛騨市オリジナル映画ドラマ制作プロジェクト

事業内容	活用額	事業費
ロケツアーリズム推進事業	6,856 千円	7,242 千円

⑨飛騨市の子どもたちを大きく育む！ドリームプロジェクト

事業内容	活用額	事業費
中学校部活動充実支援事業	9,605 千円	9,605 千円
地域部活動推進プロジェクト事業	5,200 千円	5,476 千円
学校給食メニュー向上事業	10,000 千円	10,000 千円
オリンピック・トップアスリート交流事業	1,820 千円	1,820 千円
スケボー & BMX エリア整備事業	5,000 千円	5,000 千円
小中校生スキー振興事業	15,000 千円	15,000 千円
前橋汀子バイオリンコンサート開催事業	1,300 千円	1,392 千円

⑩飛騨みやがわ考古民俗館の茅葺き民家を保存・活用する事業

事業内容	活用額	事業費
茅葺き民家修復事業	257 千円	257 千円

⑪飛騨市民病院による地域医療を支える人づくりに関する事業

事業内容	活用額	事業費
最新医療機器整備及び研修医師環境向上事業	28,695 千円	28,695 千円

⑫飛騨市で開催する関西中学生ラグビーフットボール大会への支援に関する事業

事業内容	活用額	事業費
ラグビー大会開催支援交付金	3,059 千円	3,059 千円

⑩日本一の猫助け事業を飛騨市から！

事業内容	活用額	事業費
ソーシャルビジネス支援交付金	50,000 千円	50,000 千円

⑪子どもたちにワクワクする学びを！

事業内容	活用額	事業費
ソーシャルビジネス支援交付金	22,000 千円	22,000 千円

⑫飛騨市の子どもたちをスポーツで元気に！

事業内容	活用額	事業費
プロスポーツ連携事業（中日ドラゴンズ・名古屋グランパス）	6,300 千円	6,790 千円
スポーツ活動充実交付金	5,250 千円	6,350 千円

16. 特定目的基金を充当し実施する事業

▶ 公共施設管理基金 ①（工事・修繕分）

事業内容	充当額	事業費	所管課
流葉スキー場 第2ペアリフト電動機検査費用	100 千円	100 千円	管財課
数河平成グラウンド 管理道路測量設計業務	2,000 千円	2,000 千円	管財課
ホテル季古里 浴室手摺設置工事	1,000 千円	1,000 千円	管財課
流葉キャンプ場 コテージエアコン設置工事	1,500 千円	1,500 千円	管財課
まんが王国 屋上笠木、防煙垂れ壁、排煙窓修繕工事	3,000 千円	3,000 千円	管財課
まんが王国 非常用照明更新工事	200 千円	200 千円	管財課
ホテル季古里 非常用照明更新工事	1,050 千円	1,050 千円	管財課
ホテル季古里 浴室前廊下天井修繕工事	130 千円	130 千円	管財課
流葉スキー場 第11・12リフト用キュービクル更新工事	40,000 千円	40,000 千円	管財課
古川まつり会館 ハロン消火設備用予備電源取替	400 千円	400 千円	管財課
Mプラザ 高圧ケーブル更新工事	1,000 千円	1,000 千円	管財課
おんり〜湯 源泉中継ポンプ更新工事	760 千円	760 千円	管財課
ホテル季古里 厨房排気ファン修繕工事	780 千円	780 千円	管財課
Mプラザ 男女ろ過機ヘアキャッチャー更新工事	700 千円	700 千円	管財課
すば〜ふる サーモシャワー更新工事	1,200 千円	1,200 千円	管財課
ホテル季古里 和室クロス張替工事	780 千円	780 千円	管財課
流葉スキー場 第1クワッドリフト握索機整備部品他購入	2,400 千円	2,450 千円	管財課
流葉スキー場 第2、第11リフト握索機さらばね購入	800 千円	800 千円	管財課
数河グラウンド 天然芝管理用砂	100 千円	110 千円	管財課
本庁舎空調熱源操作盤修繕工事	2,450 千円	2,453 千円	管財課
河合振興 旧会計室カウンター修繕工事	500 千円	500 千円	管財課
神岡振興 空調ファンコイルユニット取替工事	600 千円	610 千円	管財課
神岡振興 誘導灯修繕工事	1,300 千円	1,300 千円	管財課
神岡振興 防火防災ダンパー修繕工事	2,650 千円	2,660 千円	管財課

事業内容	充当額	事業費	所管課
神岡振興 中央監視装置更新工事	1,000 千円	1,040 千円	管財課
情報システム仮想基盤サーバ更新	14,500 千円	14,520 千円	管財課
OA系ネットワーク無線LAN整備	8,300 千円	8,492 千円	管財課
ハートピア女子トイレ洋式化改修工事	4,200 千円	4,200 千円	地域包括ケア課
ハートピア地下貯水槽水給水ポンプ更新工事	2,900 千円	2,900 千円	地域包括ケア課
市営墓地整備工事	3,500 千円	3,500 千円	環境課
松ヶ丘公園斎場火葬炉耐火物修繕工事他	8,100 千円	8,100 千円	環境課
飛騨市クリーンセンター施設修繕事業	105,000 千円	255,325 千円	環境課
飛騨市リサイクルセンター施設修繕事業	6,000 千円	6,460 千円	環境課
松ヶ瀬最終処分場施設修繕事業	11,500 千円	12,396 千円	環境課
北吉城クリーンセンター施設修繕事業	3,000 千円	4,778 千円	環境課
みずほクリーンセンター破砕装置点検修繕工事	47,500 千円	71,000 千円	環境課
山之村牧場各所整備事業	1,400 千円	1,400 千円	農業振興課
古川駅前広場縁石整備	2,000 千円	2,000 千円	都市整備課
古川消防署庁舎改修事業	19,000 千円	19,400 千円	消防本部
県単林道猪臥線舗装工事	1,000 千円	2,000 千円	建設課
消火栓修繕／防火水槽修繕工事	5,000 千円	5,720 千円	消防本部
小学校維持修繕工事	3,700 千円	3,700 千円	教育総務課
中学校維持修繕工事	5,200 千円	52,200 千円	教育総務課
公民館施設修繕工事	3,500 千円	3,581 千円	生涯学習課
宮川考古民族館除湿器更新／郷土民族館天井クロス修繕	1,500 千円	1,562 千円	文化振興課
文化交流センター各所修繕	6,900 千円	6,972 千円	文化振興課
河合寺・場リフト通信ケーブル整備 他	7,000 千円	94,550 千円	スポーツ振興課
①計	337,100 千円	651,279 千円	

➤ 公共施設管理基金②（施設解体分）

事業内容	充当額	事業費	所管課
月ヶ瀬バス車庫 除却工事	1,800 千円	1,800 千円	総務課
山之村キャンプ場 トイレA1解体工事	1,620 千円	1,620 千円	管財課
山之村キャンプ場 トイレA2解体工事	1,620 千円	1,620 千円	管財課
流葉スキー場 旧スキーセンター解体工事	4,500 千円	4,500 千円	管財課
流葉スキー場 第2グレンデヒュッテ解体工事	3,600 千円	3,600 千円	管財課
流葉スキー場 第1グレンデ出札所解体工事	960 千円	960 千円	管財課
流葉スキー場 ゴールハウス解体工事	1,700 千円	1,700 千円	管財課
こぶしの家除却工事	5,000 千円	5,000 千円	総合福祉課
割石温泉 案内立て看板解体撤去	2,000 千円	2,000 千円	地域包括ケア課
河合町 小無雁旧消防器具庫除却工事	3,300 千円	3,300 千円	消防本部
河合町 角川ばんば旧防火水槽除却工事	1,000 千円	1,000 千円	消防本部
神岡町 数河旧防火水槽除却工事	2,600 千円	2,600 千円	消防本部
宮川スポーツ公園遊具撤去／夜間照明撤去	3,200 千円	3,200 千円	スポーツ振興課
②計	32,900 千円	32,900 千円	
計（①+②）	370,000 千円	684,179 千円	

※ R5年度末基金残高見込 740,813千円

➤ 防災基金

事業内容	充当額	事業費	所管課
防災備蓄品整備事業	16,500 千円	17,700 千円	危機管理課
防犯カメラ設置及び助成事業	4,400 千円	4,400 千円	危機管理課
計	20,900 千円	22,100 千円	

※ R5年度末基金残高見込 50,899千円

➤ 市民の暮らし応援基金

事業内容	充当額	事業費	所管課
障がい児通所支援利用者負担助成費	3,000 千円	3,000 千円	総合福祉課
不妊・不育症治療費等助成金	2,200 千円	3,500 千円	市民保健課
計	5,200 千円	6,500 千円	

※ R5年度末基金残高見込 92千円

➤ 合併基金

事業内容	充当額	事業費	所管課
宮川保育園の園舎移転設計	2,500 千円	2,500 千円	子育て応援課

※ R5年度末基金残高見込 1,213,567千円

➤ 新規就農者育成基金

事業内容	充当額	事業費	所管課
新規就農サポート事業（補助事業）	2,800 千円	19,050 千円	農業振興課
農業後継者等への支援	1,000 千円	1,000 千円	農業振興課
中高年就農者支援事業	1,000 千円	3,000 千円	農業振興課
計	4,800 千円	23,050 千円	

※ R5年度末基金残高見込 53,915千円

➤ 鉄道資産整理基金

事業内容	充当額	事業費	所管課
口ストラインパーク構想推進事業	19,574 千円	21,424 千円	神岡振興事務所

※ R5年度末基金残高見込 1,513,926千円

➤ 社会基盤維持基金

事業内容	充当額	事業費	所管課
県営土地改良事業	15,200 千円	45,725 千円	建設課
県単土地改良事業	10,000 千円	20,000 千円	建設課
市単土地改良事業	9,500 千円	13,100 千円	建設課
公共林道整備事業	4,400 千円	115,900 千円	建設課
市単林道整備事業	14,000 千円	14,000 千円	建設課
道路維持補修経費（工事関連）	26,000 千円	26,000 千円	建設課
市単道路新設改良事業	12,000 千円	58,000 千円	建設課
県道改良事業負担金	30,000 千円	30,000 千円	建設課
社会資本整備総合交付金事業（道路）	16,000 千円	248,200 千円	建設課
道路メンテナンス事業（橋梁）	2,900 千円	103,000 千円	建設課
計	140,000 千円	673,925 千円	

※ R5年度末基金残高見込 30,485千円

➤ 清掃施設整備事業基金

事業内容	充当額	事業費	所管課
飛騨市クリーンセンター施設修繕工事	150,000 千円	255,325 千円	環境課

※ R5年度末基金残高見込 270,057千円

➤ 学校施設整備基金

事業内容	充当額	事業費	所管課
学校施設の空調設備整備（小学校）	5,600	5,600	教育総務課
小学校維持経費	47,000	53,700	教育総務課
I C Tを活用した授業づくりの推進（小学校）	27,713	37,405	学校教育課
学校施設の空調設備整備（中学校）	3,200	3,200	教育総務課
I C Tを活用した授業づくりの推進（中学校）	4,516	4,516	学校教育課
計	88,029 千円	104,421 千円	

※ R5年度末基金残高見込 109,722千円

➤ 消防施設整備基金

事業内容	充当額	事業費	所管課
消防本部査察車更新事業	5,000 千円	5,214 千円	消防本部
消防器具庫整備事業	2,000 千円	2,000 千円	消防本部
計	7,000 千円	7,214 千円	

※ R5年度末基金残高見込 18,990千円

17. 社会保障関係費と地方消費税交付金（社会保障財源化分）の推移

【社会保障関係費予算計上額】

(単位：千円)

項目	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
社会福祉関係費	2,090,150	2,159,881	2,098,140	2,037,874	2,133,638
社会福祉	702,970	743,671	753,948	706,916	785,431
高齢者福祉	179,651	176,773	180,265	181,146	203,542
児童福祉	1,149,321	1,182,379	1,103,688	1,074,488	1,075,165
生活保護	58,208	57,058	60,239	75,324	69,500
保健衛生関係費	831,438	810,319	792,583	820,977	847,829
保健衛生	46,953	50,134	51,906	52,160	66,826
感染症予防	74,870	74,804	75,540	76,458	78,698
生活習慣病	60,226	55,651	64,526	67,459	50,740
母子保健	30,460	27,671	27,331	23,732	22,732
医療費助成	216,481	205,205	199,299	212,998	210,804
病院・診療所	402,448	396,854	373,981	388,170	418,029
社会保険関係費	1,041,128	1,040,962	1,026,284	1,047,229	1,056,299
国民健康保険	142,646	143,973	140,532	141,297	145,120
後期高齢者医療	409,318	411,372	420,172	431,151	445,925
介護保険	488,741	485,025	464,806	474,191	464,661
国民年金	423	592	774	590	593
合計	3,962,716	4,011,162	3,917,007	3,906,080	4,037,766
財源内訳					
国県支出金	1,331,580	1,410,179	1,354,824	1,343,604	1,412,965
その他	161,420	158,065	131,158	113,214	137,888
一般財源	2,469,716	2,442,918	2,431,025	2,449,262	2,486,913
社会保障財源	189,412	293,333	301,473	296,345	303,436
純一般財源	2,280,304	2,149,585	2,129,552	2,152,917	2,183,477

※当初予算ベース

※臨時的経費及び会計年度任用職員以外の人件費を除く（他会計繰出金に含まれる人件費相当分も同様）

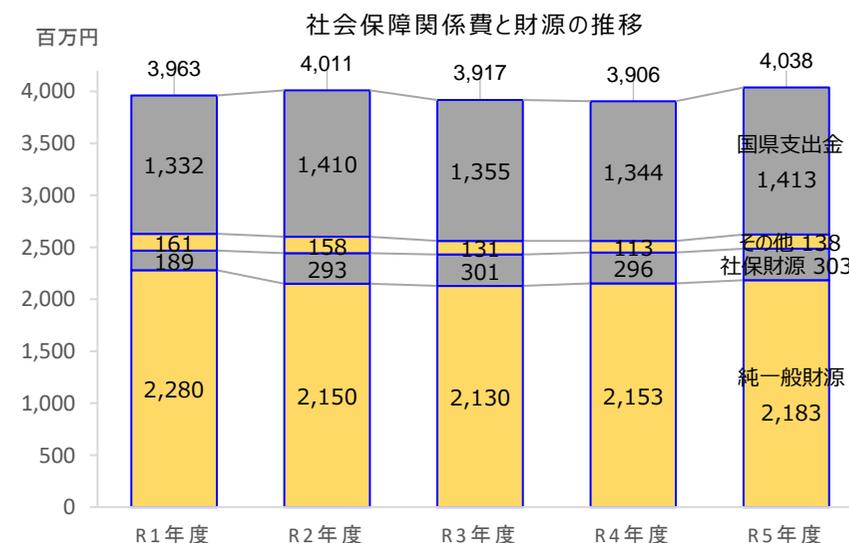
▶ 社会保障施策に要する経費

社会保障と税の一体改革により、消費税率の引き上げによる増収分は、全て社会保障の財源に充てることとされています。

○地方消費税交付金 **556,300千円** (R5予算計上額)

○うち社会保障財源化分 **303,436千円** (556,300×12/22)

	H26.4.1~ R1.9.30	R1.10.1~ R2.3.31	R2.4.1~ R3.3.31	R3.4.1~
地方消費税率	17/63 消費税率換算 1.7%	22/78 消費税率換算2.2%		
引上げ分 (社会保障財源)	7/17 消費税率換算 0.7%	7/17	11/21	12/22 消費税率換算 1.2%
従来分 (一般財源)	10/17 消費税率換算 1.0%	10/17	10/21	10/22 消費税率換算 1.0%



18.森林環境譲与税を充てる経費

(単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳			
		森林環境 譲与税	国県支出金	財産収入	一般財源
高性能林業機械の活用支援	1,000	1,000			
広葉樹のカスケード利用と資源循環の促進	276	276			
広葉樹端材の市内循環活用の推進	645	645			
林業・木工技術者の確保育成の推進	2,613	2,613			
レーザー測量等ICT技術を活用したスマート林業の実証	2,500	2,500			
飛騨市独自の広葉樹サプライチェーンの確立支援	5,524	1,124			4,400
広葉樹活用ネットワーク化推進事業	1,184	1,170			14
持続可能な広葉樹林業の見える化の推進	242	242			
広葉樹のまちづくりを伝えるツアーの拡充	470	470			
広葉樹施業に対する市独自支援の拡充	5,000	5,000			
飛騨市産広葉樹の活用推進に対する支援拡充	3,000	3,000			
広葉樹天然林におけるFSC認証取得と認証材サプライチェーンの整備	5,142	5,142			
高野千本桜夢公園整備事業	4,146	931			3,215
林業普及・人材育成プログラム推進事業	50	50			
「飛騨の“森で働く”見学会」の開催	2,500	2,500			
森林作業路機能強化支援事業	10,000	10,000			
林業人材活用・育成事業	5,944	2,400	815		2,729
森林集約化及び境界明確化推進事業	6,000	6,000			
市有林整備事業	7,466	5,966		1,500	
未整備森林整備事業	11,400	11,400			
林業・木材活用新技術開発支援事業	195	195			
里山環境維持・保全支援事業	4,000	4,000			
飛騨市里山林整備事業（市単）	15,000	15,000			
広葉樹のまちづくり普及・推進事業	947	930			17
	95,244	82,554	815	1,500	10,375

➤ 森林環境譲与税

令和5年度の譲与税交付額は令和4年度と同額の64,000千円を見込んでおり、森林整備促進基金から前年度までの未活用分20,000千円を繰り入れた額とあわせて、左記の24事業を実施する予定としております。

譲与税交付の目的に合致した事業の推進を図るため、年度末には事業費の精算を行い、余剰財源は再度森林整備促進基金に積み立てし翌年度に活用するサイクルとします。

森林環境譲与税譲与額の実績と今後の見込み
(単位：千円)

年 度	交付実績	交付見込
R01	23,367	
R02	49,654	
R03	49,422	
R04		64,000
R05		64,000
R06～		79,000

※ 森林環境譲与税は一般財源ですが、便宜上左記のような財源内訳としております。